

2023年度事業計画

2023年度収支予算

学校法人 山脇学園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 山脇学園（平成15年10月1日法人設立）
 代表者 理事長 山脇 成子
 住 所 大阪府池田市伏尾台2丁目11番地
 電 話 072-751-1828
 F A X 072-751-1826

設置する学校及び保育園

住 所 大阪府池田市伏尾台2丁目11番地
 名 称 友星幼稚園
 住 所 大阪府箕面市森町中1丁目1番地6号
 名 称 森町友星保育園
 役 員 理 事 6名 監 事 2名
 評議員 13名
 理事会 2回開催 評議員会 2回開催
 職 員 63名（幼稚園 34名、保育園 29名）

【 友星幼稚園 】

《教育方針》

やさしく思いやりのある子ども・強くたくましく元気な子ども・豊かな感性をもつ子ども

《教育内容》

通常保育の中に絵画、英語、体育の専門の講師との活動も入れ子どもたちの協調性や創造性、やり通す精神力など調和のとれた心と体づくりをめざしています

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定 員	1	12	2	40	2	55	2	55	7	162
2021年度	1	1	2	45	2	56	2	52	7	154
2022年度	1	12	2	39	2	57	2	56	7	164
2023年度	1	12	2	37	2	50	2	51	7	150

《保育時間》

月～金曜日 午前9時～午後2時

《納付金》

保育料 無償化のため徴収なし
 教材費 月額 1,200円
 施設維持費 月額 2,000円

《入園時の費用》

入園料 [3・4歳児] 50,000円 [5歳児] 25,000円
 検定料 1,500円

《預り保育の時間及び費用》

月曜～金曜日

午前8時～8時45分（100円）

午後2時～午後6時（800円）

午後6時～午後7時（以後30毎200円UP）

土曜日

午前9時～午前11時30分（600円）※勤務証明書が必要

午前9時～午後5時（弁当持参）（1,500円）※勤務証明書が必要

◎月極制度有（10,000円～）

◎春・夏・冬季の長期休暇中も実施（年末年始・年度末・年度始め除く）

《行事予定》

園外保育、保育参観日、納涼保育、お泊り保育、運動会、生活発表会、作品展、誕生会（毎月）、身長・体重測定（毎月）

《施設関係》

園地面積2,765㎡ 運動場面積1,250㎡ 園舎面積651㎡

施設点検を怠らず、維持検討のため修繕費用を計上。

《設備関係》

機器備品等の更新の有無を判断し予算計上。

【 森町友星保育園 】

《保育方針》

乳児期・・・よくたべる子ども、よくねむる子ども、よくあそぶ子ども

幼児期・・・やさしく思いやりのある子ども、強くたくましく元気な子ども、豊かな感性をもつ子ども

《保育目標》

身体は元気に、心は豊かに

保 育 園 定員60人	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	園児数計
	園児数	園児数	園児数	園児数	園児数	園児数	
2021年度	3	24	28	2	4	0	61
2022年度	2	23	21	9	4	4	63
2023年度	3	29	24	4	1	3	64

《保育時間》

開園時間 午前7時

閉園時間 午後7時30分

保育時間 午前9時～午後5時

《計画内容》

新型コロナウイルスの影響、若者の将来展望の不安から、2022年の出生数は、79万9千人となり、ここ数年、婚姻数も大幅に減少しているため、今後も少子化が進んでいくと思われる中、岸田総理大臣は、通常国会の施政方針演説の中で、出生率を反転させる従来と次元の異なる少子化対策の実現を表明された。

これにより、少子化が止まるかどうかは懐疑的にならざるを得ないが、東京都は、

都内在住の0～2歳の第2子の保育料の完全無償化を10月より実施すると独自の子育て支援を打ち出しており、今後も政府による少子化対策について注目していく。

園運営の鍵は、園児の確保と教職員組織の安定であり、園児募集については、保護者が何を望んでいるのか、預かり時間、教育内容、金額と要素は様々であり、それらに応えることは園児の確保に繋がるが、すべての要望に応え全方位を満足させることは難しい。それをカバーするためには、当園の魅力を理解してもらうことが大切で、そのためにも情報発信は重要であり、ホームページ等効果的な発信方法の検討を今後も重ねていくこととする。

また、園児確保については、未就園児及び満3歳児入園者等、早い段階からの園との関わり合いも鍵となり、未就園児クラスや親子教室・満3歳児クラスの充実が注目されている。また、全体的に特別支援児が増加している傾向が強まっており、これらに対応するためにも人員の確保は必須となり、他の課題と合わせ検討をすすめていく。

教職員採用については、変わらず厳しい状況が続いており、府内の養成校においては募集定員を大幅に割り込み、存亡の危機を迎える状況にある。採用についても、情報を集め、優秀な教職員の確保ができるように努めることとする。

新型コロナウイルスの感染は治まることなく続いているが、感染症法上の2類相当から季節性インフルエンザ等の5類への分類変更が5月8日を目途とされ、現場に対応を委ねられることになるため、引き続き感染対策を行い、園全体の安全を確保し、着実な運営を行うこととする。

これらに加え、第211回国会において、私立学校法の改正が上程され、評議員の権限を強化したガバナンスの見直しが実施されることに伴い、今後、寄附行為の変更手続きが予定される。

このような状況下、新年度の園児数は、前年度より14名減の7学級150名となる。また、森町友星保育園の園児数は、前年度より1名増の64名のスタートとなる。

財務状況については、事業活動収支計算書より、幼稚園部門の教育活動収支は、教育活動収入計が128,035千円、教育活動支出計が128,060千円となり、教育活動収支差額は24千円マイナスとなる。また、教育活動外収支差額が5千円のプラスとなり、経常収支差額は19千円マイナスとなる。特別収支差額が0千円のため、当年度収支差額（基本金組入前収支差額）は19千円マイナスとなる。

また、保育園部門の教育活動収支は、教育活動収入計が120,632千円、教育活動支出計が113,795千円となり、教育活動収支差額は6,837千円のプラスとなる。また、教育活動外収支差額が1千円のプラスとなり、経常収支差額は6,838千円にプラスとなる。特別収支差額が0千円のため、当年度収支差額（基本金組入前収支差額）は6,838千円のプラスとなる。

学園としては、当年度収支差額（基本金組入前収支差額）は6,818千円のプラスと良好な経営状況を維持することができる。

《収支予算》

別紙のとおり

幼稚園部門

保育園部門